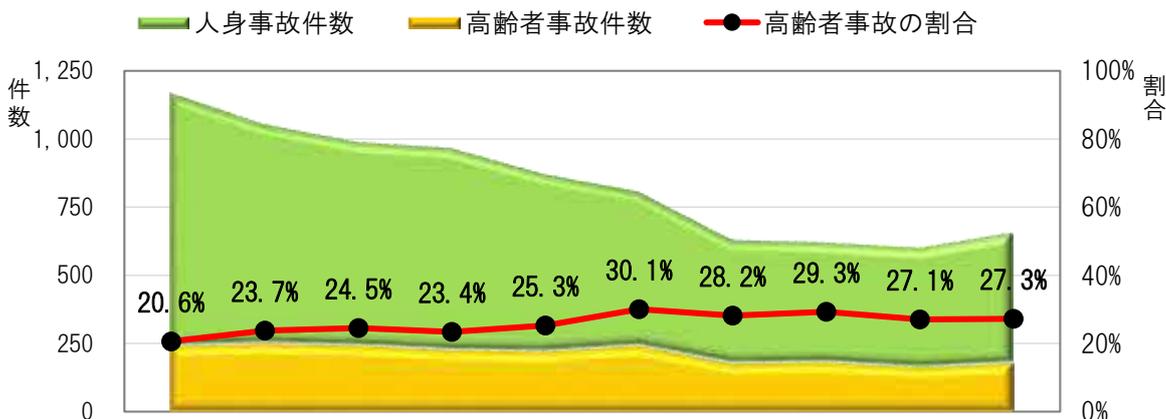


1 人身交通事故の推移（平成26年～令和5年）

※ 高齢者事故：本資料中において高齢者が第1当事者となった事故

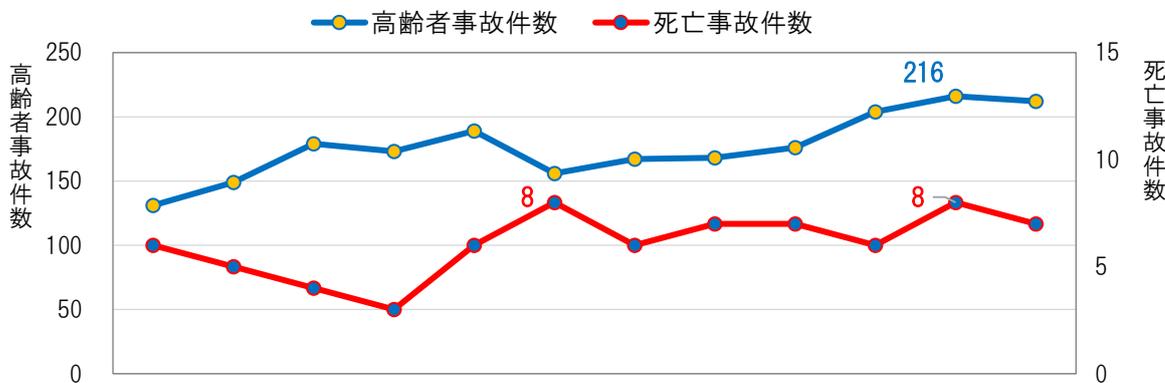


	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	合計
人身事故件数	1,168	1,053	987	965	869	805	628	618	598	656	8,347
うち高齢者事故件数	241	250	242	226	220	242	177	181	162	179	2,120
うち75歳以上の事故	106	91	101	83	81	100	71	55	68	81	837
死者数	34	38	17	26	20	31	17	19	14	14	230
うち高齢者死者数	20	21	11	17	8	20	8	11	6	9	131
うち75歳以上死者数	17	15	8	7	6	13	4	7	3	6	86
負傷者数	1,396	1,250	1,243	1,162	1,029	957	749	694	691	762	9,933
うち高齢者負傷者数	256	217	224	220	192	188	130	138	103	140	1,808
うち75歳以上の負傷者数	89	89	84	83	74	78	52	50	48	57	704
高齢者事故の割合	20.6%	23.7%	24.5%	23.4%	25.3%	30.1%	28.2%	29.3%	27.1%	27.3%	25.4%
高齢者死者の割合	58.8%	55.3%	64.7%	65.4%	40.0%	64.5%	47.1%	57.9%	42.9%	64.3%	57.0%

- 人身事故件数は減少傾向で推移しており、令和5年は656件と平成26年の1,168件から512件減少（減少率43.8%）している。一方で、65歳以上の高齢者事故件数は、令和5年は179件と平成26年の241件から62件減少（減少率25.7%）したが、全体の人身事故件数と比較して減少割合が低いいため、高齢者事故の割合は増加傾向で推移している。
- 死者数は増減を繰り返しながら推移している状況にあるが、全死者に占める高齢者の割合は、40%台から60%台と高い割合で推移している。
- 負傷者数は減少傾向で推移し、令和5年は762人と平成26年の1,396人から634人減少（減少率45.4%）している、高齢者の負傷者数については、令和5年は140人と平成26年の256人から116人減少（減少率45.3%）しており、人身事故件数の減少率とは異なる結果が見られた。

2 高齢者事故の分析結果（平成26年～令和5年）

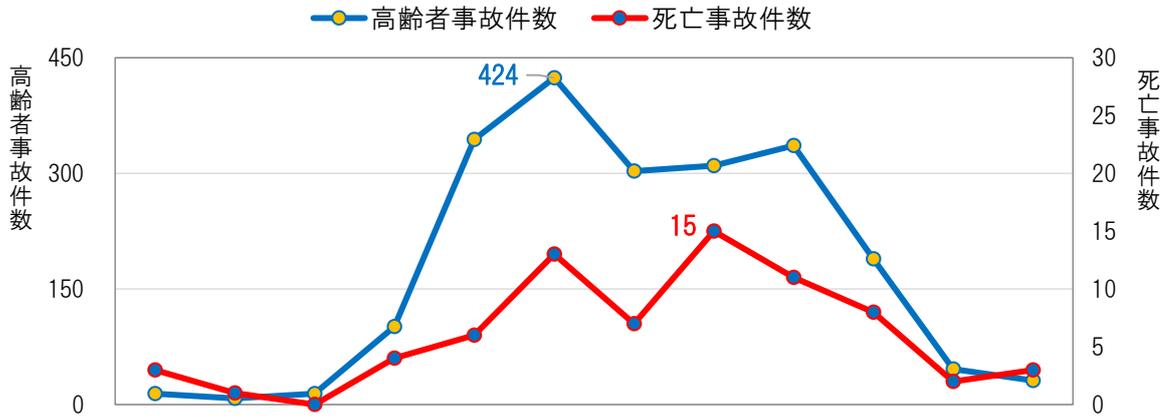
(1) 月別発生件数



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
高齢者事故件数	131	149	179	173	189	156	167	168	176	204	216	212	2,120
うち死亡事故	6	5	4	3	6	8	6	7	7	6	8	7	73

- 高齢者事故件数は11月が216件（10.2%）と最も多く、10月から12月に632件（29.8%）発生している。
- 死亡事故件数は6月と11月がそれぞれ8件（11.0%）と多い。

(2) 時間別発生件数

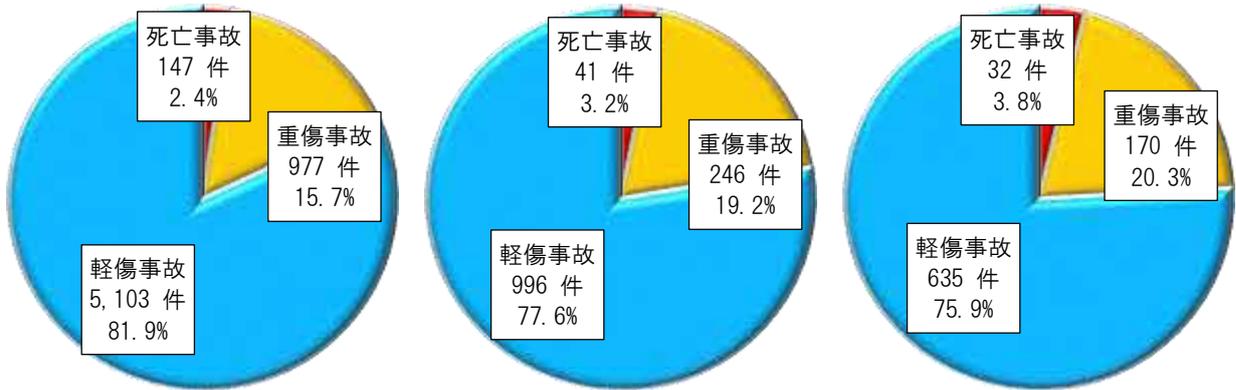


	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	合計
高齢者事故件数	14	8	14	101	344	424	303	310	336	189	46	31	2,120
うち死亡事故	3	1		4	6	13	7	15	11	8	2	3	73

- 高齢者事故件数は10時から12時までの間が424件（20.0%）と多い。
- 死亡事故件数は14時から16時までの間が15件（20.5%）と多い。

(3) 第1当事者の年齢層別・事故内容別の発生件数（8,347件）

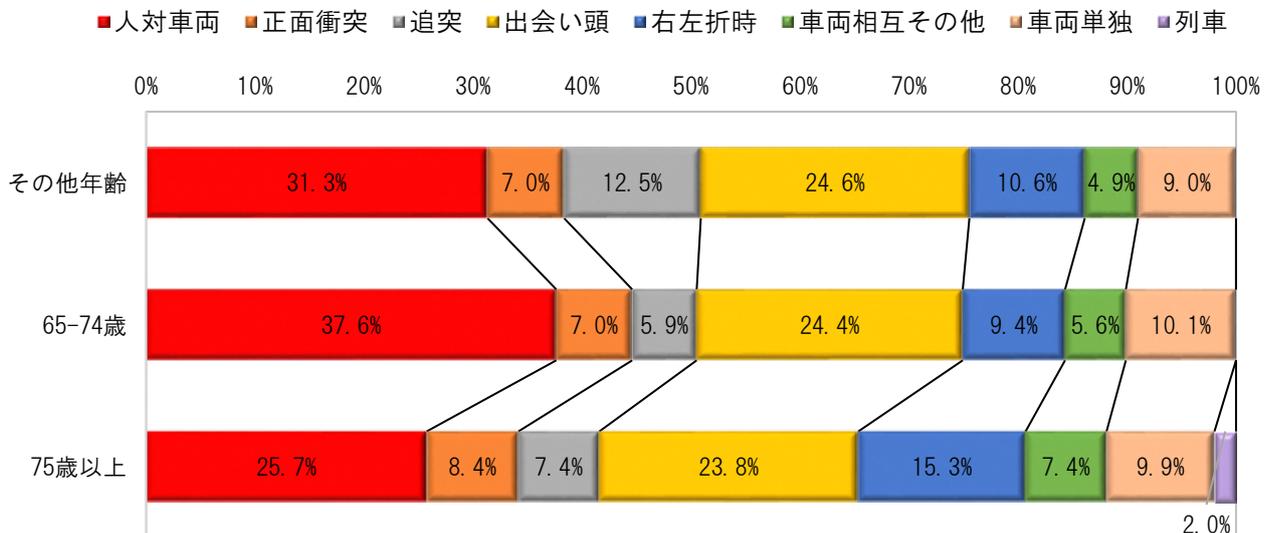
ア その他年齢（6,227件） イ 65～74歳（1,283件） ウ 75歳以上（837件）



- 高齢になるほど、死亡・重傷事故の発生割合が高くなる傾向にある。
- 75歳以上では、死亡・重傷事故が全体の24.1%を占め、その他年齢（18.1%）の約1.3倍となっている。

(4) 第1当事者の年齢層別・事故類型別発生状況（死亡・重傷事故）

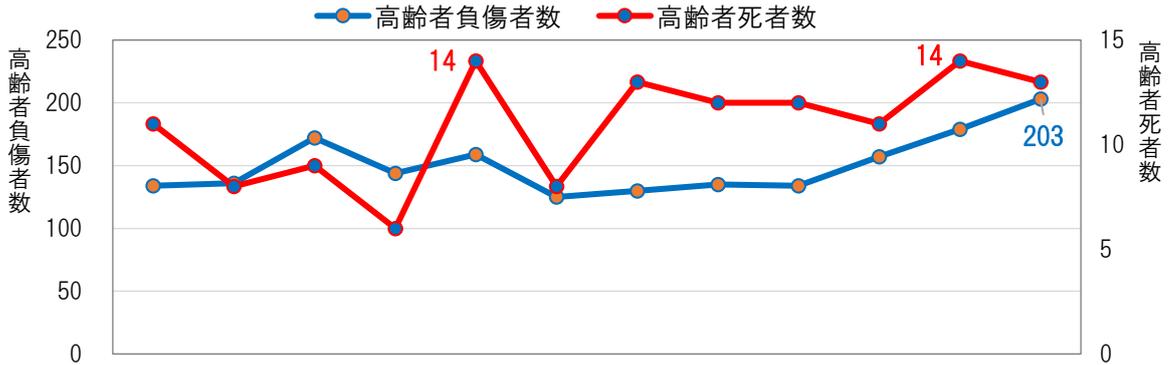
（1,613件～その他年齢 1,124件：65～74歳 287件：75歳以上 202件）



- 死亡・重傷事故の事故類型では、65～74歳は人対車両事故の割合が高く、75歳以上では右左折時の割合が高い。

3 高齢者が死傷した交通事故の分析結果（平成26年～令和5年）

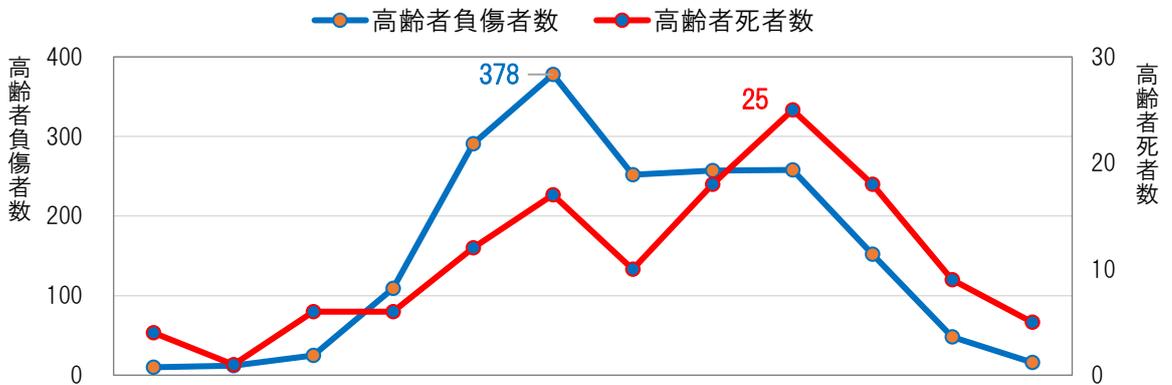
(1) 月別死傷者数



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
高齢者死者数	11	8	9	6	14	8	13	12	12	11	14	13	131
高齢者負傷者数	134	136	172	144	159	125	130	135	134	157	179	203	1,808

- 高齢者死者数は5月と11月がそれぞれ14人（10.7%）と多い。
- 高齢者負傷者数は12月が203人（11.2%）と多い。

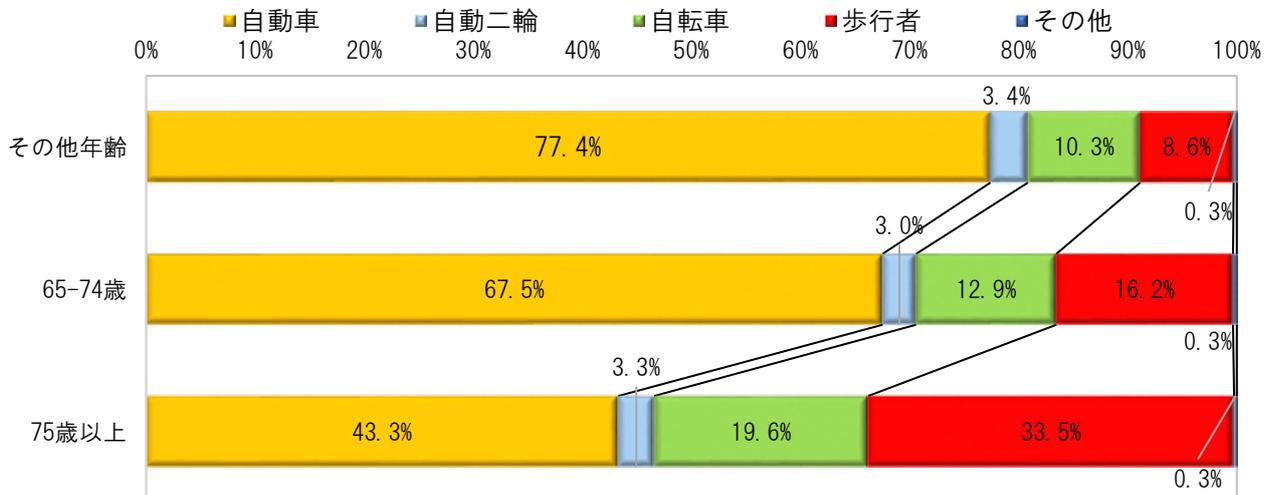
(2) 時間別死傷者数



	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	合計
高齢者死者数	4	1	6	6	12	17	10	18	25	18	9	5	131
高齢者負傷者数	10	12	25	109	291	378	252	257	258	152	48	16	1,808

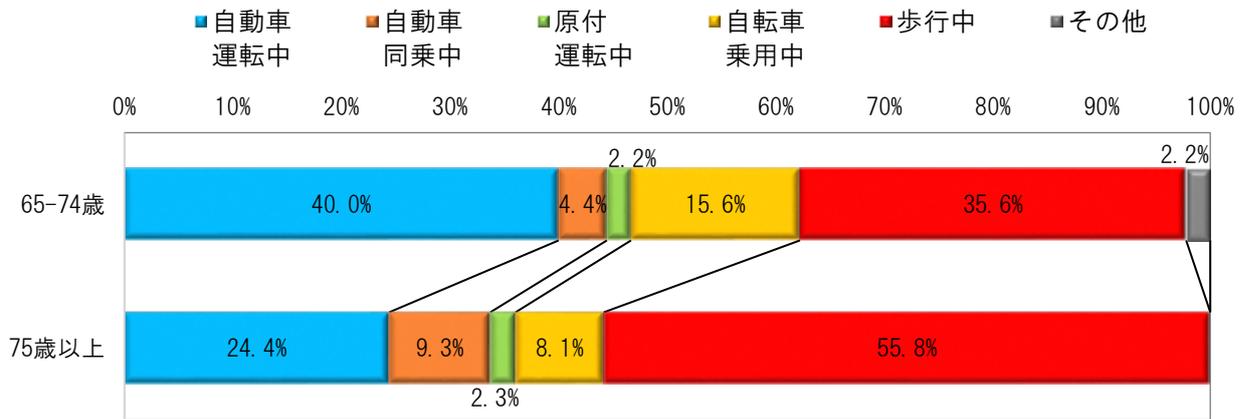
- 高齢者死者数は16時から18時までの間が25人（19.1%）と多い。
- 高齢者負傷者数は10時から12時までの間が378人（20.9%）と多い。

(3) 年齢層別・状態別死傷者数 ※ 状態別には運転者と同乗者が含まれます。 （その他年齢 8,224人：高齢者1,939人（65-74歳 1,149人：75歳以上 790人））



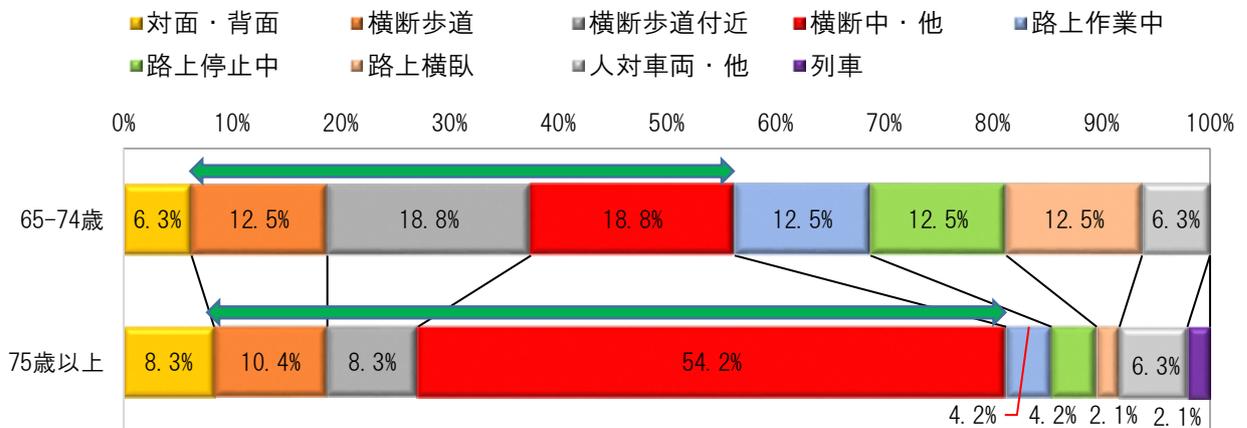
- 高齢になるほど、歩行中及び自転車の被害割合が高くなる傾向にある。
- 75歳以上では、歩行中が33.5%でその他年齢の約3.9倍、65～74歳の約2.1倍、自転車は9.6%でその他年齢の約1.9倍、65～74歳の約1.5倍となっている。

(4) 状態別死者数



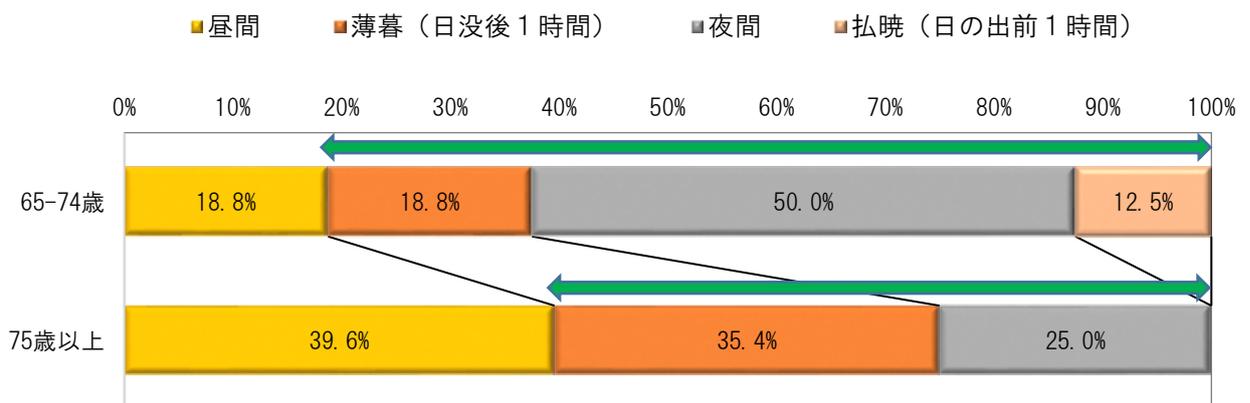
- 65～74歳（死者数45人）は自動車運転中の割合が高い。
- 75歳以上（死者数86人）は歩行中死者の割合が55.8%と65～74歳の約1.6倍となっている。

(5) 歩行中死者の事故類型別 ※ グラフ中の ←→ は「横断中」



- 65～74歳（死者数16人）は、横断中が8人（50.0%）となっている。
- 75歳以上（死者数48人）は、横断中が35人（72.9%）と突出している。

(6) 歩行中死者の昼夜別 ※ グラフ中の ←→ は「夜間」



- 65～74歳は、昼間が3人（18.8%）、夜間が13人（81.3%）と夜間の被害が多い。
- 75歳以上は、昼間が19人（39.6%）、夜間が29人（60.4%）と昼間の被害も多い。

※ 割合については、単位未満で四捨五入しているため、合計が100とならない場合があります。